

学校行事参加型＋在宅取組型＋子育てサロン型(小学校)

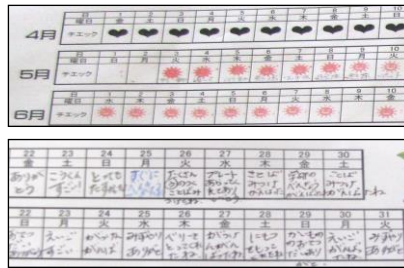


学校名等	山県市立大桑小学校
実施日時	平成28年6月21日(火) 14:30～16:00
会場	1年生～6年生の各教室
参加人数	全保護者
学習課題(分野)	「ほめほめカレンダー」(「話そう!語ろう!わが家の約束」運動)
運営者の願い	「自ら進んで歩む子を支える家庭教育～認めて、ほめて、たくましさ育てよう～」をめざし、ほめることを目に見える形にし、1年間の足跡を残す「ほめほめカレンダー」を作って、意識的に子育てをする。

学習の内容

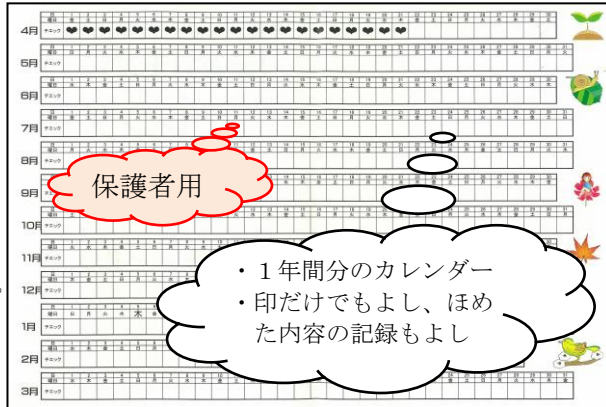
<「ほめほめカレンダー」の取組>

毎日1年間継続して、子どもを“認めてほめて、たくましく育てよう”という活動。各家庭で保護者が「わが子をほめる活動(ほめ方の上達を含む)」を行う。毎日、子どもの頑張りが家庭のルールを守っている姿を認めて、ほめる会話を通して、たくましさを育てる。全校53人だからこそ、中学校・高校・社会の大きな集団で積極的に活動できるよう、自らに自信をもち、たくましく生きていく人になってほしいと願っての取組。



<年間計画>

家庭教育学級は年間18回。その内、「たくましい子に育てよう」は5回シリーズ。4月に「ほめほめカレンダー」の趣旨、方法等の説明。6・9・12・2月の懇談会で実践交流をし、高め合う。



<学級懇談会(実践交流1回目)>

学級懇談会の司会は、PTAの委員さん。
 「ほめほめカレンダーをはじめからの様子、最近ほめたこと、家庭学習へのアドバイスを聞かせてください。」と、スタート。
 「些細なことも意識するようになった。怒っていることも多いが、ほめることができるようになった。近くに置いて書いている。」
 「テストが良かったので、『お母さんは、100点取れんわ。』とほめたら、嬉しそうにしていた。ほめる感覚ができた。今までは言わなかった、『ありがとう』も、言うようになった。」
 「ほめることがない時は、肩たたきをしてもらった。ほめるようにしたら、朝も自分で起きるようになった。整理整頓は苦手だが、食後の食器の後片付けを自分で意識してやっているの、ほめている。」
 「一言コメントを書いている。これがあることで、今度は違うことを見るようになり、よい方向である。」



<学校と家庭の連携>

学校では、『わたしのよさ通帳』の取組をしている。子どもは、自ら進んでできた、やさしくできた、みんなのためにできた、まえよりもできた、あきらめずにできた等を自分の通帳に記録する。1冊終わると写真と共に紹介される。子どもも自分のよさを自覚できるように、学校と家庭との連携が図られている。

<成果>

この日の交流会は、保護者みんなが笑顔で、誇らしげであった。ほめることを通して親としての成長を自覚するとともに、家庭内での会話が増えた喜びやわが子のたくましさを実感する場となった。

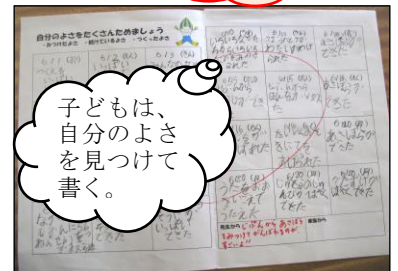
- ★「ほめほめカレンダー」を作成し、実施する。
- ★毎日1年間継続し、目に見える形にし、ほめた足跡を残す。
- ★5回シリーズ。懇談会で実践交流し、保護者自ら研鑽する。
- ★学校と家庭の連携。「わたしのよさ通帳」子どもよさを記録。



- <午後の日程の工夫>
- ◇救急法講習会(保護者＋5・6年生児童)
 - ◇授業参観
 - ◇学級懇談会(在宅取組型＋子育てサロン型)をセットにして、体験・学び・参観・保護者交流を一度に行う工夫をしている。



子ども用



子どもは、自分のよさを見つけて書く。